

イグザクトカラー シーラント剤

# exact color™ sealant

簡単に、どんな **色** にもなるコーキング。

水性ペイント  
混ぜるだけ!

- 蛍光塗料
  - ラメ入り塗料
  - メタリック
  - ステイン
- などでも使えます。

再塗装する  
サイディングの  
目地にも!

塗装壁の  
いりずみ  
入隅に最適!



# 作りたい色のカラーシーリング剤を、簡単に作ることができます。 水性ペイントとイグザクトカラーを混ぜるだけ！ 特別な道具も必要あり

## 特徴

### ■どんな色にも着色可能。

水性ペイントをイグザクトカラーに混ぜるだけで、水性ペイントと同じ色のコーキング剤が作れます。これまでコーキング後に行っていた仕上げの上塗りペイントが不要になり、手間が省けます。また蛍光塗料やラメ入り塗料、メタリックでも同色になります。(打設直後のイグザクトカラーの色は薄いですが数時間で混合した水性ペイントと同色になります。) ※油性及び溶剤系塗料はご使用いただけません。

### ■良くのびて、使いやすい。

一般的なコーキング剤よりのびがよく、また水性のため ヘラゴテや濡らしたスポンジフォームなどでのばしやすく、慣れない人でも滑らかな仕上がりにしやすい。

### ■面倒なプライマー処理も不要で、強力接着。

一般的コーキング剤は接着性を高めるためにプライマーを塗り、その後30分程度待ってから、コーキング剤を施工します。イグザクトカラーはベトベトしているプライマーを塗る必要がありません。

### ■多くの素材に接着。

ペイント仕上げの素材、木部や金属やタイルなどを含む多くの素材に強力接着します。(一般的なコーキング剤は木部に使用することができません。)

### ■道具の手入れが簡単のため、環境にもやさしい。

作業直後に洗えば、道具などに付着したイグザクトカラーはきれいに落ちます。

## 用途

コーキングで色目を合わせたい箇所&対照的にコーキングの色を目立たせたい箇所

**インテリア** ペイント仕上げの壁(塗装壁の入隅やひび割れ部など)、壁紙、タイル、木製・ビニール製の巾木、カウンタートップ、etc

**エクステリア** ペイント仕上げのサイディング目地(木、ファイバーセメントなど)、窓やシャッター周り、レンガ・石・化粧漆喰の家、etc



塗装壁の入隅



サイディング目地

従来のシーリングではペンキとの相性が悪いため、経年により塗膜が剥離してしまふことがあります。イグザクトカラーは剥離しにくく、ひび割れをしたとしても下地と同色のため目立ちません。



### 使用上の注意事項

●長期間、水にさらされる場所へ塗布する場合には、24~48時間養生をして水に濡れるのを防いでください。また、湿った表面に塗布する場合は硬化するまでは多湿状態にはしないでください。●本製品の使用に際しては、雨にさらされる垂直面(壁)には適していますが、水が溜まるようなプール・浴室には適しません。また、過剰に荷重がかかる場所、車庫・路面・パティオなどの床にも適しません。●硬化後は光沢感があります。



簡単に、どんな色にもなるコーキング。

ません。

## 使用方法

### ● 表面の処理 / 下地調整



ホコリ、油や古いコーキングを取り除く

- ホコリなどを取り除き下地をきれいにして下さい。汚れや油が付着している場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 古いコーキング剤は、カッターなどで取り除いてください。取り除くことができない場合はプライマーをご使用ください。

### ● カラーリング



垂直に立てる→



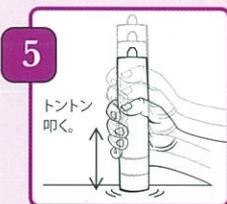
30ml 抜き取る



カートリッジに注入する



キャップをしっかりと閉め、よく振って混ぜる



トントン叩く。



アクティベーターを全量注入する。

1. カートリッジを平面に垂直に立て、しっかりと持ち、つまみをまっすぐ上に引いて封を切ってください。

2. 水性ペイントを十分に混ぜた後、付属の注入器で30ml抜き取ってください。  
 (※油性及び溶剤系塗料は、ご使用いただけません。)

3. カートリッジに水性ペイントを注入してください。

4. 付属のクリアキャップでしっかりと閉め、カートリッジを少なくとも60秒間、よく振ってください。色が充分混ざり全体に均一になっているかカートリッジの側面や底を確認してください。充分に混ざっていない場合は、色が均一になるまで振ってください。  
 (※キャップの閉めが弱いと混合液が飛び散る恐れがあります。)

5. カートリッジ内の入り口に膜が張ることがありますので、クリアキャップを外した後、軽くカートリッジを叩いてください。

6. アクティベーターを全量カートリッジに入れてください。注入後、すみやかにアクティベーターのキャップを閉めてください。



7

再びキャップをしっかりと閉め、よく振って混ぜる



8

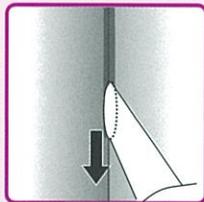
約30分待つ

7. 再びクリアキャップをしっかりと閉め、少なくとも60秒間よく振ってください。色が充分混ざり全体に均一になっているかカートリッジの側面や底を確認してください。充分に混ざっていない場合は、色が均一になるまで振ってください。

8. コーキングが落ち着くまでおよそ30分間待ってください。注入器を再度ご使用の場合は使用後すぐに充分に水洗いして保管してください。

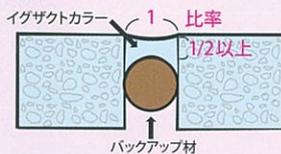
9. アクティベーターの容器は捨ててください。

### ● 充填方法



1. クリアキャップを取り、ノズルを取り付け、充填部分にあわせてノズル先端を切断してください。

2. イグザクトカラーを入隅やすき間の中に充填してください。  
 (※充分に混ぜた後でもイグザクトカラーの中に気泡が生じ、それにより塗布の際にコーキングがふきだすことがあります。)



イグザクトカラー 1 比率 1/2以上  
 バックアップ材

クラック、目地など深い隙間にはバックアップ材を挿入し、シーリング剤の厚みを適切になるようにしてください。これにより、より強く、長持ちするようになり、イグザクトカラーの使用量も少なくて済みます。

硬化後の肉やせやひびきによるちぎれを防ぐため、幅に対して深さが1/2以上になるように打設してください。

3. 必要に応じてヘラゴテや水でぬらしたスポンジフォームをお使いいただくとさらにきれいな仕上がりになります。(硬化後、肉やせが多い場合、増し打ちをしてください。)
4. 打設直後のイグザクトカラーの色合いは薄いですが、数時間で混合した水性ペイントと同じ色になります。

### ● 保存法と洗浄

1. 混合前後に関わらず長持ちさせるために、本品を涼しく乾燥した場所に保管してください。混合後の残余分は6カ月以内に使い切ってください。
2. 皮膚に付着した場合は石鹼水等で洗ってください。道具は水洗いしてください。
3. 注入器を再度ご使用の場合は使用後すぐに充分に水洗いして保管してください。

次の品目があると便利です。

- 塗料や活性化剤が手に付かないようにするためのゴム手袋
- コーキングのラインを直し、幅や形を整えるヘラゴテやスポンジフォームなど

動画での使用方法は、[コチラ](#)⇒



簡単に、どんな色にもなるコーキング。



イグザクトカラー

## ■商品ラインナップ



商品	コークベース	アクティベーター (15ml)	注入器	ノズル	クリアキャップ	備考
① DIYキット	9.5fl.oz (280ml) カートリッジ	1本	1個	1個	1個	DIY用
② 業務用セット	(水性ペイント・アクティベーター混合後)	6本	6個	6個	6個	プロ用
③ ジャジネーター*	40fl.oz (1183ml) (水性ペイント・アクティベーター混合前)	1本	5個	-	-	

\*ジャジネーターは詰め替え用です。カートリッジ、注入器、ノズル、クリアキャップの付属はございません。

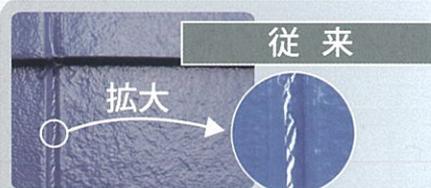
## メリット

### ■インテリアの場合 (塗装壁、ドライウォールなど)

	従来	イグザクトカラー
壁のペイント	① →	① →
コーキングの打設	② →	② →
コーキング隠しの同色ペイント	③ →	不要

1工程  
手間が  
省ける!

### ■エクステリアの場合 (サイディング補修など)



- ①古いコーキングを剥がす。  
②新しいコーキングの打設。  
③サイディング、コーキングのペイント  
④ペンキとの相性が悪いため、経年により塗膜が剥離してしまうことがあります。



- ①古いコーキングを剥がす。  
②イグザクトカラーを打設。  
③サイディングのペイント。

手直し、  
いらず。

- 水性ペイントと相性が良いため、よく混ざり、ペイントのノリが良い。
- 下地と同色なので、仕上がりがキレイ。
- ペイントがひび割れをしたとしても、下地と同色のため従来品と比べ目立たない。

## テクニカル データ

最大打設可能幅 1.2cm程度

対応可能温度 施工可能表面温度: 4℃~32℃ 硬化後の性能を維持する温度: -34℃~121℃

VOC 4%未満(アクティベーターをコークベースに添加後) 使用前のコークベース: pH 7.3、アクティベーター: pH12.0

切断までの伸び率 608%

凍結-融解安定性 -17.8℃で最大3回。 -26.1℃では安定性なし。凍結はなるべく防いでください。

濃縮前のコークベースの粘度 50,000CPS

残留重量率 55.6% (水分が蒸発する前の全体重量に対して、水分が蒸発した後の固体重量残留率)。

残留容積率 59.7% (水分が蒸発する前の全体容積に対して、水分が蒸発した後の固体容積残留率)。

比重 1.03

養生時間 タックフリー: 60分以内、硬化日数: 4~5日

標準施工量 9.5fl.oz (280ml): 5mm×5mm隙間で約11m程度

◇上記試験結果はアメリカ サシュコでの社内試験によるもので、その代表値を記載しております。

## 注意事項

### アクティベーター

●アクティベーターの取扱いにはご注意ください。皮膚や目からは離して使ってください。皮膚や目に入った場合は充分な量の水で洗い流してください。アクティベーターとコーキングのベースの混合後は取扱いに危険はありません。使用後はすぐにアクティベーターの容器を捨て、子供の手の届かないようにしてください。●内容物及び容器を廃棄する場合、各自治体の指示に従ってください。●詳細については MSDS を参照してください。

### シーラント本体

●皮膚に付着した時は、布等で拭き取ってから、石鹸でよく洗い落としてください。●お子様の手の届かないところに保管してください。●内容物及び容器を廃棄する場合、各自治体の指示に従ってください。●詳細については MSDS を参照してください。

製造元 **サシュコ**  
(アメリカ)

輸入元 **日建総業株式会社**  
*nikken* 埼玉県朝霞市浜崎3-1-1

販売



Tel: 048-474-2211  
Fax: 048-473-1815

www.sashco.co.jp  
www.nikken.ne.jp

www.sashco.com